

INTERVIEW  
医療法人ホスピイグループ  
理事長  
浦田哲郎氏に聞く

医療法人ホスピイグループは、富山県魚津市、石川県金沢市、同県白山市でクリニックや老人保健施設、グループホームなどを展開するが、24時間対応の訪問診療を含め、地域に根差した医療を展開してきた。

開業医の父君の影響もあり、同じく地域住民のための医師を志した同グループ理事長の浦田哲郎氏は、日々の診療で、栄養学や運動による健康管理の重要性を痛感。日本抗加齢医学会や日本臨床アロマセラピー学会などで統合医療を学び、自施設の診療で同医療を実践することを目指した。それが形となったのが、2007年、地域住民の生活習慣病予防、介護予防に貢献すべく開設した、富山県魚津市の総合健康増進施設「浦田クリニック／スコール」である。

そして、同施設開設から10年間で培ったノウハウと経験を生かし、2017年4月に、北陸地方最大の都市、金沢市に都市開発業者からのオファーを受け、「浦田クリニック／スコール金沢」をオープンしたのである。なお、同施設は、クリニック（保険診療・自由診療）、人間ドック／健診施設、フィットネスクラブ、アロマトリートメント、アンチエイジングカフェ、サプリメントショップが一体となった、ま

## 石川県・浦田クリニック／スコール金沢



浦田 哲郎 (うらた・てつろう) 氏  
1987年金沢医科大学卒。1993年無医村でのプライマリケアを目指し「河内うらた医院」を開設。同年富山県魚津市の「浦田病院」を継承。2000年法人名を「医療法人社団ホスピイ」に改める。2007年浦田クリニック／スコール開設、2017年4月浦田クリニック／スコール金沢開設

# 保険診療、自由診療、運動、栄養、癒し等 トータルに身体を診て、治して、維持する— 最新電子カルテがその情報連携を強く支える

北陸の地で、父君の代より地域の住民の健康を支えてきた、浦田哲郎氏を理事長とする「ホスピイグループ」。かねがね浦田氏は、医療だけでなく、さまざまな視点から身体を診て、治療、管理する必要性を感じていたという。浦田氏はその考えに基づき、2007年にクリニックを中心にした健康増進施設を富山県魚津市に開設した。それから10年、その経験を盛り込んだ複合施設を金沢市にオープン。それが「浦田クリニック／スコール金沢」だ。クリニック、検診・人間ドック、フィットネス、アロマ、サプリメント他、まさに健康を総合的に支える体制を採る。肝要なのは、その各要素を繋げるためのツールだ。浦田氏はそのために高機能の電子カルテを導入したのである。

さしく新発想の複合施設である。

医療施設であるクリニックや人間ドック／健診施設は、高級ホテルのような内装と外観を持ち、最新の医療機器による検査を実施する。ドック受診者には、医師や管理栄養士が監修した人間ドック専用ランチとリフレクソロジー、メデイカルフィットネスや天然温泉も利用できるというサービスを提供し、定期受診者増に努めている。

なお、治療も、通常の保険診療によるものにこだわらず、医師に加えて理学療法士、柔道整復師、管理栄養士、セラピストらスペシャリストが、日頃の運動や食事、サプリメントの採り方など、多様な健康管理法を指導するという。また、浦田氏は、保険外の自由診療に

も力を入れている。

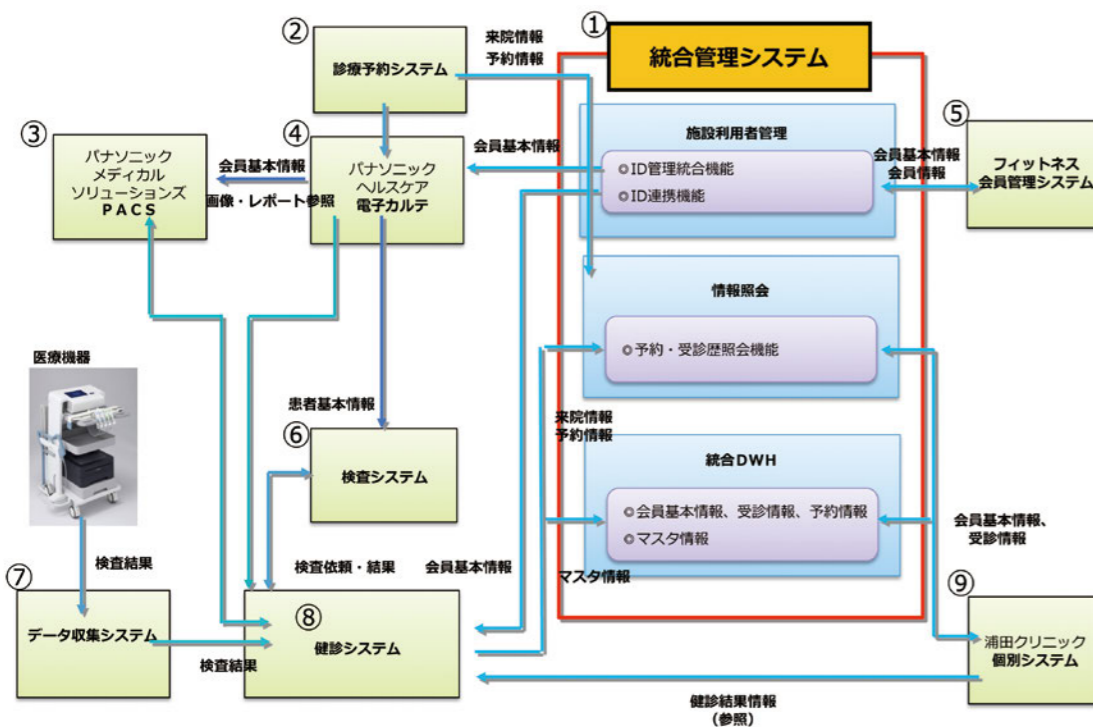
「保険外での高濃度ビタミンC点滴やマイヤーズカクテル点滴といった点滴療法や血液クレンジングなどの酸化療法、免疫療法を含むがん治療の実施や、難治性疾患外来や東洋医療外来などを自由診療エリアに設けて展開しています。魚津市の「浦田クリニック／スコール」で5、6年前に自由診療を開始した頃からニーズは高く、金沢市でも診療の柱の1つにと考えています」

同施設のスタッフは130名、1日の施設利用者数は600名を数えるという。電子カルテシステム「Medicom-HRV」  
施設における長年のサポート実績と部門システムとの連携が導入の決め手

同施設が導入した医事一体型電子カルテシステムが、パナソニックヘルスケアの「Medicom-HRV（メデイコムエイチアルブイ）」同システムは、診療所用医事一体型電子カルテシステムである。紙カルテのように見易く、かつ多彩なカルテ表示と入力フォームを有している。薬の処方や検査、処置、所見、病名などはテンプレート化された画面から選択するだけで簡単に入力できるなど、操作性の高いインターフェースを有しているのが特徴である。

「Medicom-HRV」は、診断書や紹介状など、患者に手渡す患者文書をテンプレート化したことで、カルテ内容を簡単な操作で作成中の文書に貼り付けることができるので、よりスピーディーに文書が作

### 浦田クリニック／スコール金沢 システム構成図

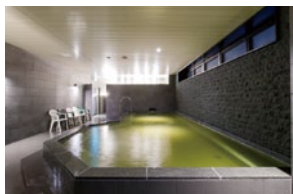


システム構成図。電子カルテはPACSや健診システムなど医療用のシステムだけでなく、フィットネス会員管理システムなど、各種施設の顧客管理システムと連携して患者・顧客情報を一元管理している

成可能であるほか、処方歴や検査結果をグラフ化するなどの時系列表示機能も充実している。

医療法人ホスピイグループでは、従前より診療を行っていた「浦田クリニック／スコール」（富山県魚津市）、「河内うらた医院」（石川県白山市）でレセプトコンピュータ導入以来、メデイコムの情報システムを利用してきた。そして、現在は金沢市内ですでに開設している「此花町浦田クリニック」も含め、全施設でメデイコムの電子カルテを使用している。

施設の地下 1300m から湧き出る天然温泉による温浴施設を設置。半露天風呂や男性用の遠赤外線アロマサウナ、女性用のアロマミストサウナも設置



水中歩行や水中エアロ、整形外科医が開発したアクアクリニック体操を行うことができる運動療法専用のプールを設置。効果的な運動メニューを実施



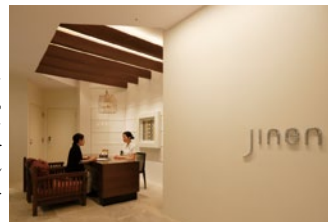
「スコール金沢」のフィットネススタジオ。メディカルフィットネスとして医学的検査と体力測定により、個人に適した運動メニューを提供

人間ドックでは、厳選した食材等を用い、医師や管理栄養士監修によるドック専用ランチを提供している



カフェ「DOCTOR'S CREATION CAFÉ 87」。グルテンフリー、無添加食材など、同施設独自の食養生に基づいた身体にやさしい健康メニューを提供している

メディカルアロマセラピー「Jinen (ジネン)」。日本臨床アロマセラピー学会の指導を受けたセラピストがホテルをイメージしたスペースで施術を実施



メディコムの電子カルテ導入について、浦田氏はつぎのように話す。

「メディコムとは、魚津市で医療を展開している頃からの付き合いなのですが、サポート体制がしっかりしていて信頼を寄せてきました。今回の『浦田クリニック／スコール金沢』の電子カルテ導入については、他の部門システムとの連携がポイントであり、そのことにも積極的に取り組んでもらえるということと、今までの信頼を合わせて評価して、電子カルテ『Medicom-HRV』の導入に至ったのです。その甲斐もあり、お客様と患者様へのサービスとホスピタリティを第一に掲げる当施設では、お客様と患者様が以前にどの施設を受診し、現在の状態がどのようなのかなのかを受付の時点で即座に把握し、お客様と患者様のご相談や受診に臨めるシステムを構築することができました」

同クリニック内の診察室や処置室等を中心に電子カルテ端末が30台設置されているが、他にフィットネスクラブ等で、受診者の情報を参照することができるよう、各種システム端末を合わせて約100台



メディカルサプリメントの提案と販売を行うショップ「SQOL+(スコールプラス)」。同施設で用いる食材や調味料の物販を行っている

設置している。

「電子カルテへの入力には、当施設では医師を診療に専念させるために、医療用クラウドをそれぞれ配置して入力業務を支援させています」

医事一体型電子カルテシステム

複合施設ならではの情報連携に電子カルテは不可欠である

浦田氏は、電子カルテのメリットをつぎのように話す。

「例えば、人間ドックで内視鏡検査中にポリープが見つかり、即切除ということになれば、その行為はすぐに保険診療に切り替わります。そのような観点から、人間ドックにも電子カルテ端末が必要で。また、当施設が目指す様々な観点からトータルに考える健康管理には、フィットネスクラブではどのようなトレーニングが行われているのか、またトレーナーはその点についてどのようなコメントを残しているのか、またサプリメントの購入履歴などのデータなど、全てのデータを一元化する必要があり、そのためには電子カルテを導入する必要があったのです」

今後の「浦田クリニック／スコール金沢」の展望を、浦田氏はつぎのように話す。「まずはスタッフの育成です。患者様やお客様に満足して頂くためには、接客は重要なポイントとなります。懇切丁寧な接遇を実施するため、130名のスタッフ一人ひとりが、きめ細やかな対応をできるようにトレーニングする必要があります。また、人間ドックの受診者を増やすた

め、営業活動を積極的にを行っています。特に企業検診は多くの顧客が望めますので、金沢駅前という立地を生かして、受診者数の確保に努めます。

なお、8月には歯科部門である『うらた歯科診療室』を施設内にオープンさせる予定です。最近話題になっている口腔内金属は、サプリメントによる栄養療法を推進する見地からも大きな問題です。口腔内金属の問題に対処できる医師は国内に100名もいません。当施設では、当該医師を招聘する予定です。歯科診療室開設と共にスタッフも育てて、同問題の解消も含め、歯科診療も1つの柱にしていければと考えています。

これだけの複合施設への投資は確かにリスクもありますが、全ての診療がそれぞれ関係しており、全てを実践しなければ大きな成果を得られません。

ここで成功できれば、私と同様な考え方を持つ医療者によって各地方都市に同じような施設が広がっていくでしょう。そうなっていければ、私も嬉しいですよ」



医療法人ホスピエグループ  
浦田クリニック／スコール金沢

「浦田クリニック／スコール金沢」は、JR金沢駅近の地に、「医療」だけでなく「運動」「栄養」「癒し」を加え、健康をトータルでケアする健康予防複合施設である。

住 所：石川県金沢市広岡 3-3-70  
理事長：浦田哲郎